

第 44 回 定例情報交換会御質問事項への回答

1. スクリーニング調査（海外）

1. 1. NRC 統合検査報告書 05000275/2020003 (ML20303A238)

この報告書の中で、事業者の CAP 活動で、断熱材下での炭素鋼配管の腐食に関する INPO の運転経験情報（と)を適切に取り扱っていなかったことを指摘している。JANSI と国内事業者においては、こうした INPO 運転経験情報を得ているのか。また、その情報を国内で活用しているのか。

国内でも断熱材下での機器の不良事例が複数発生しているが、JANSI から国内事業者向けに、そうした運転経験情報を提供しているか。また、JANSI では、国内事業者が運転経験情報を適切に取り扱って、活用していることをピアレビュー等で確認しているのか。活用していないことが判明した場合、JANSI はどのような措置をとるのか。

A. INPO の運転経験情報は WANO のホームページから入手している。また、その情報は JANSI と事業者にて開催している会議体で共有・分析している。

国内で発生した不具合事象は、当該事業者によりニューシアに登録され他の事業者はその内容を確認している。並行して JANSI にて当該事象をスクリーニングし水平展開の検討要否を判断する。

また、頻発する類似した不具合事象については、JANSI にて傾向を分析して事業者へ文書を発行するなどして運転経験情報を提供している。

なお、JANSI では、ピアレビューに合わせて JANSI が発行した OE 情報に関する発信文書の取組状況を確認している。現場で活用されていないことが判明した場合、「更なる処置が必要」等の評価をする。

1. 2. IRS9059P

本件は、排風機の予備品であるベルトが経年劣化していた事象であり、機器の性能認定に関わる予備品の保管寿命（シェルフライフ）を適切に設定することの重要性を指摘している。国内事業者においては、一般に、予備品の保管寿命についてどのように設定、管理しているのか。

A. 予備品の保管寿命については、メーカー推奨の期限を考慮して設定し、管理している。また、棚卸等の機会に予備品の外観等の確認を行っている。

※枠内は国際機関との取り決めにより公開できません。

1. 3. IRS9072P

本件は、EDG のデイタンク及び地下燃料タンクに水が混入した事例である。国内事業者においては、一般に、EDG のデイタンク及び地下燃料タンクの燃料の組成（水混入）を定期的に検査しているのか。

A. EDGに係るタンクのうち屋外に設置されているものについては、定期的に成分分析を実施しているが、水分は分析していない。また、国内のEDGタンク類については、設計・製造・施工・保守を確実に実施しており、水が混入することは考えにくい。

2. スクリーニング調査（国内）

2. 1. 13291M「管理事務所における火災」

リチウムイオンバッテリーの電極劣化による火災に対して、JANSI ではどう取り組んでいるのか。もしくは、どう取り組む計画か。

A. 本件については水平展開の検討「要」とし、本件に対する未然防止処置の検討・実施状況をNUCIA上で管理している。

2. 2. 火災事象（13291M、13456M、13442M、13366M、13430M、13434M）

上記も含めて規模は小さいが、火災事象が頻発している。JANSI ではどう取り組んでいるのか。もしくは、どう取り組む計画か。

A. JANSI は、2021年3月24日に2011年以降（～2020年12月3日）に、火災事象がニューシアに91件登録されていたことを踏まえ、火災事象に係る注意喚起文書を発行し、事業者には注意を促した。

しかしながら、ご質問の通り、注意喚起文書発行後も火災事象が頻発している状況であることは承知している。

JANSI としては、上述の状況を踏まえ、注意喚起文書の改訂版を発行し、今一度事業者に対して火災事象に対し注意喚起することを考えている。

3. その他

第53回技術情報検討会（R4/5/26）にて、「原子力発電所における蓄電池の劣化に関する国際調査結果」を報告し、国内原子力施設における蓄電池の劣化に関する実態調査（蓄電池交換頻度とその技術根拠、定期容量試験の実施の有無等）を行うこととなった。JANSI では、国内原子力施設における蓄電池の劣化について、どう見ているか。

A. JANSI では国内発電所の蓄電池の型式に係る情報を有していないが、国内では蓄電池の劣化を考慮した上で、劣化の兆候を把握するための点検を実施したり、蓄電池の交換を実施したり、蓄電池の劣化に関して適切に管理していると認識している。

以上